

〈令和7年度道徳教育総合支援事業〉  
**道徳教育**  
**地区別推進協議会**

**学校教育課通信**

令和7年12月12日（金） 第214号  
編集・発行：県南教育事務所長 平山 明裕

学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための協議会を行い、その成果を普及することにより福島県における道徳教育の一層の充実に資することを目的に令和7年10月21日（火）に矢吹町立三神小学校において、道徳教育地区別推進協議会を実施しましたので、ご紹介させていただきます。

**講座3 公開授業（2年生・6年生）より**

1 主題名 やさしい心 B親切、思いやり

2 教材名 とくべつなたからもの（出典：小学どうとくゆたかなこころ2年 光文書院）

3 本時のねらい

困っているねずみを助けるくまの気持ちを考える活動を通して、困っている人を「何とかしたい」と思う気持ちに共感し、相手の喜びが自分の喜びにつながることに気付き、身近な人に親切にしようとする道徳的心情を育てる。



授業者 矢吹町立三神小学校 第2学年 木村 美和子 先生

＜参加者（教員・保護者及び地域住民等）の感想より＞

- 子どもたちが生き生きと自分の考えを発言・表現をしていました。担任の先生の子どもたちへの問い合わせ方・認め方がとても素晴らしかったです。
- 意見や考えを出し合う中で、くまくんの心の動きが深まっていったと感じました。子どもたちから「きずな」という言葉が発表された時には、驚きました。
- 中学校教員から見る小学校の授業は、気づかされることが多々ありました。

1 主題名 よりよい社会にするためには C 12 規則の尊重

2 教材名 外国からのメッセージ（出典：ふくしま道徳教育資料集 第Ⅰ集）

3 本時のねらい

震災後にマナーを守る日本人の思いについて話し合う活動を通して、社会の一員としての自覚をもち、みんなが住みやすいよりよい社会をつくろうという道徳的実践意欲を育てる。



授業者 矢吹町立三神小学校 第6学年 米倉 純之 先生

＜参加者（教員・保護者及び地域住民等）の感想より＞

- 自分が受けてきた道徳の授業は、先生が一方的に話す授業だったので、グループで話し合ったり、先生と子どもたちの対話があつたりとても良かったです。
- 6年生とは思えないくらいの素直さや積極的に発表する姿が素晴らしいと感じました。ネームプレートの活用やノートへの丸つけなど、担任の先生が児童一人一人を大切にされている様子がうかがえて学級経営の面でも学ばせていただきました。
- 当時の被災者に気持ちを重ねて授業を受けたからこそ、積極的な意見が飛び交っていたのかなと感じました。「他人を思いやるのはなぜ？」その反面、「なぜ誹謗中傷してしまうのか？」大人でも「う~ん」と首をかしげてしまうことを、今日は6年生に教えてもらうことができました。

**講座1 講義「県南域内の道徳教育の実施状況について」**



**講座2 協議「学校教育全体で取り組む道徳教育の充実に向けて」**



**講座4 研究発表  
「令和7年度道徳教育推進校 研究の概要」**



**講座5  
「事後研究会並びに保護者・地域住民懇談」**



**講座6 講演「地域、課程、学校が一体となって育む道徳教育の在り方について」  
秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威 様**



**教員・保護者及び地域住民等の感想より**

- 地域の方々と連携している三神小学校の取組が素晴らしいと思いました。
- 道徳科が全ての教科の根っこになることを感じた1日でした。
- 福島県の取組を同じ仲間達に伝えたいと思います。
- 私たちが小学生の頃に学んだ道徳の授業と全く違う道徳の授業で驚きました。
- 参加できたことが大変プラスになり、先生方の努力と大変さを改めて感じました。
- 先生方は、普段多忙な中で、一生懸命に取り組まれていると日々感じています。